

## 基本目標 7 快適でより便利なまちをつくるために

### 施策 24 安全で快適なみちづくり

#### 目的

《対象》市内全域の道路  
《意図》安全、快適、円滑に通行できる

#### 施策の方向

○周辺環境への配慮と歩行者空間の確保を図りながら、円滑に移動できる道路網の整備を計画的に進め、歩行者・自転車・自動車など道路を利用するすべての人たち並びに沿道住民にとって、安全で快適なみちづくりを推進するとともに適切な維持管理に取り組みます。

#### 施策の達成状況

まちづくり指標	基準値	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	目標値
普段利用する市内の道路が安全であると感じている市民の割合	49.6% (H25)	46.6%	49.6%	51.8%	48.7%	49.1%	60.0% (H30)
バリアフリー基本構想により実施すべき道路特定事業の達成率	51.7% (H25)	51.7%	51.7%	51.7%	54.2%	-	75.0% (H30)
橋りょうの耐震化率	75.5% (H25)	75.5%	75.5%	75.5%	77.6%	-	100% (H30)

#### その他

- 「調布市道路網計画」の策定（平成 27 年度）
- 都市計画道路整備率約 52%（平成 29 年度末現在）
- ラグビーワールドカップ 2019™日本大会、東京 2020 大会に向けた東京スタジアム周辺の基盤整備
- 路面下空洞調査の実施 など

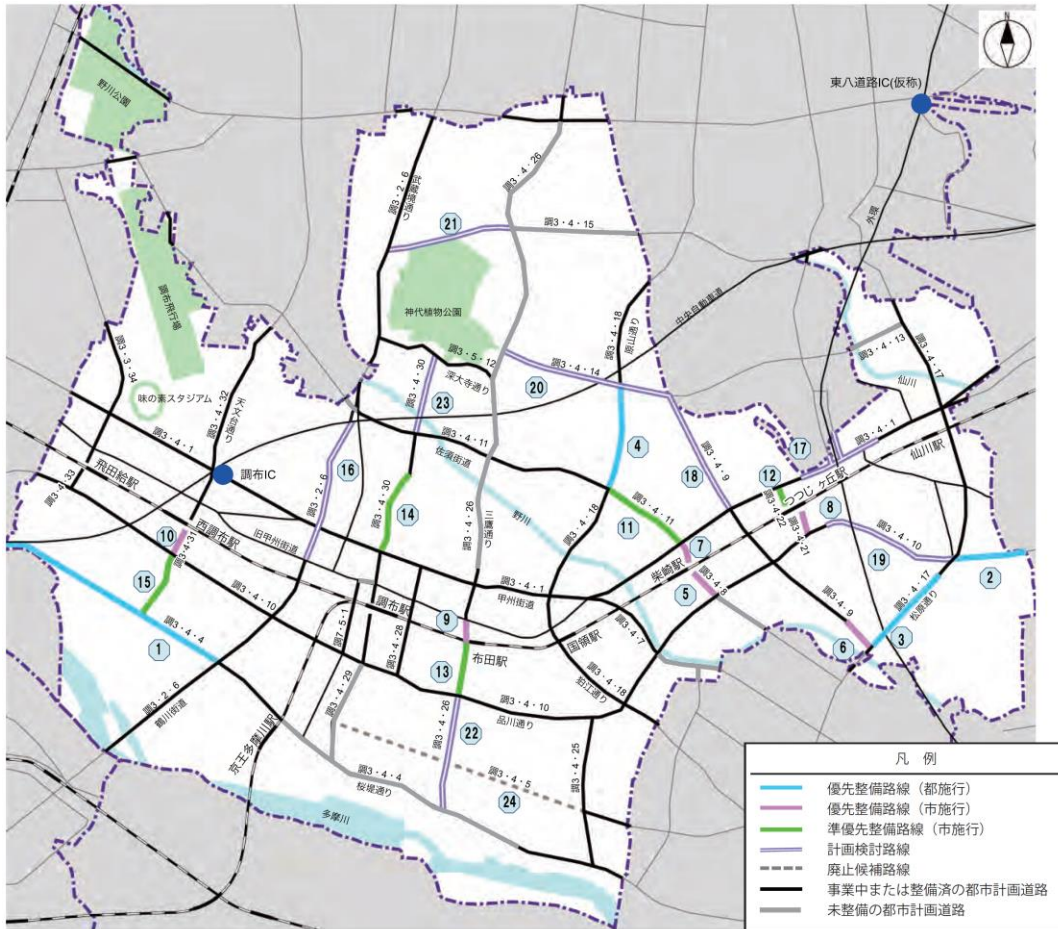
#### ■ 現状と課題

- 道路は、交通の円滑化による都市機能の向上を図るとともに、避難路の確保による防災機能の向上、良好な都市空間の創出など、市民生活や経済活動に不可欠な社会資本です。道路の役割に応じて、地域の特性や将来の交通需要に対応した道路交通網を形成していく必要があります。
- 調布市の平成 29 年度末時点での道路整備率は、都市計画道路が約 52%となっています。都市計画道路は、市民生活を支える重要な都市基盤であるとともに、災害時に緊急輸送道路等として重要な役割を果たすことから、計画的に整備を進めていく必要があります。また、生活道路等についても、防災性・快適性・コミュニティの向上を図るため、地域の特性に応じた整備を進めていく必要があります。
- ラグビーワールドカップ 2019™日本大会及び東京 2020 大会を見据え、東京都と連携し、東京スタジアム周辺の環境整備を推進していく必要があります。
- 災害時の避難路、緊急輸送路としての機能を確保し、災害に強い都市基盤の整備を進めるため、橋りょうの耐震化や崖線道路の防災対策を進める必要があります。
- 平成 27 年度に策定した「調布市道路網計画」に基づき、都市計画道路や生活道路等を整備し、円滑に移動できる道路網を整備していく必要があります。

#### ■ 次期基本計画策定に向けた主なポイント

- 道路や橋りょうの老朽化対策を計画的・効率的に進め、損傷が軽微なうちに補修を行い、ライフサイクルコストを縮減する「予防保全型」へ転換していく必要があります。
- 周辺への環境へ配慮及び快適な通行の確保をするため、街路灯の LED 化や無電柱化を進めるとともに、人と環境にやさしい道路空間の整備を推進していく必要があります。

◆調布市内の都市計画道路（第4次事業化計画（平成28～37年度））



■優先整備路線（都施行）（4路線）

No.	路線	区間	延長 (m)
1	調布3・4・4号線	調布3・2・6～府中市境	1,470
2	調布3・4・10号線	世田谷区境～調布3・4・17	340
3	調布3・4・17号線	調布3・4・9付近～調布3・4・10付近	690
4	調布3・4・18号線	調布3・4・11～調布3・4・14付近	740

■優先整備路線（市施行）（6路線）

No.	路線	区間	延長 (m)
5	調布3・4・8号線	柴崎駅～調布3・4・10 (交通広場約2,500m <sup>2</sup> )	190
6	調布3・4・9号線	調布3・4・17～西つつじヶ丘4丁目	240
7	調布3・4・11号線	柴崎駅～調布3・4・1 (交通広場約2,500m <sup>2</sup> )	100
8	調布3・4・21号線	つつじヶ丘駅～調布3・4・10 (交通広場約2,500m <sup>2</sup> )	150
9	調布3・4・26号線	布田駅～都道119	130
10	調布3・4・31号線	西調布駅～調布3・4・10 (交通広場約2,000m <sup>2</sup> )	190

■準優先整備路線（市施行）（5路線）

No.	路線	区間	延長 (m)
11	調布3・4・11号線	調布3・4・1～調布3・4・18	610
12	調布3・4・22号線	つつじヶ丘駅～調布3・4・1 (交通広場約3,950m <sup>2</sup> )	90
13	調布3・4・26号線	調布3・4・10～布田駅	380
14	調布3・4・30号線	調布3・4・1～調布ヶ丘1丁目	500
15	調布3・4・31号線	調布3・4・10～調布3・4・4	460

■計画検討路線（検討主体：都）（2路線）

No.	路線	区間	延長 (m)
16	調布3・2・6号線	都道119～中央自動車道	980
17	三鷹3・4・13号線支線2 調布3・4・1号線	調布3・4・1～三鷹市境	870

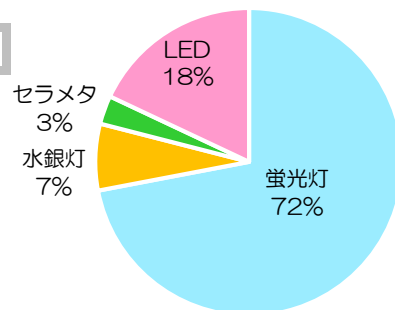
■計画検討路線（検討主体：市）（6路線）

No.	路線	区間	延長 (m)
18	調布3・4・9号線	調布3・4・1～調布3・4・14	830
19	調布3・4・10号線	調布3・4・17～東つつじヶ丘2丁目	920
20	調布3・4・14号線	調布3・4・9～調布3・4・26	1,150
21	調布3・4・15号線	調布3・4・26～調布3・2・6	840
22	調布3・4・26号線	調布3・4・4～調布3・4・10	770
23	調布3・4・30号線	調布3・4・11～調布3・5・12	420

資料：調布におけるこれからのみちづくり 調布市道路網計画

◆街路灯における電球の種別ごとの割合（平成29年度）

街路灯の約18%にLEDを使用しています

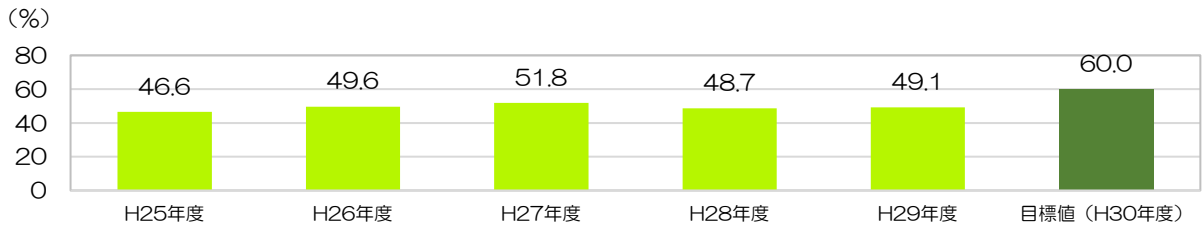


資料：道路管理課

## 24-1 円滑に移動できる道路網の整備

### 【まちづくり指標】 普段利用する市内の道路が安全であると感じている市民の割合

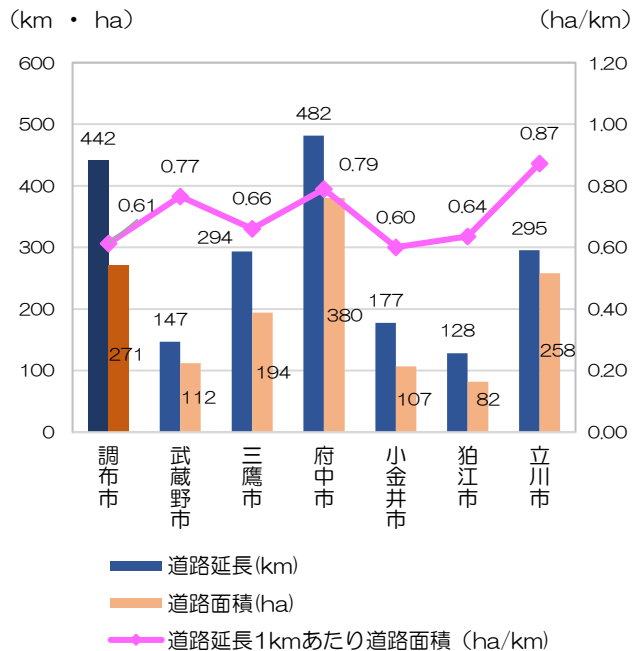
平成 26 年度以降ほぼ横ばいで推移しています  
道路整備には長い期間を要することから、目に見える形で整備が進んでいないことが原因と考えられます



資料：調布市民意識調査

#### ◆道路延長、道路面積（平成 28 年比較）

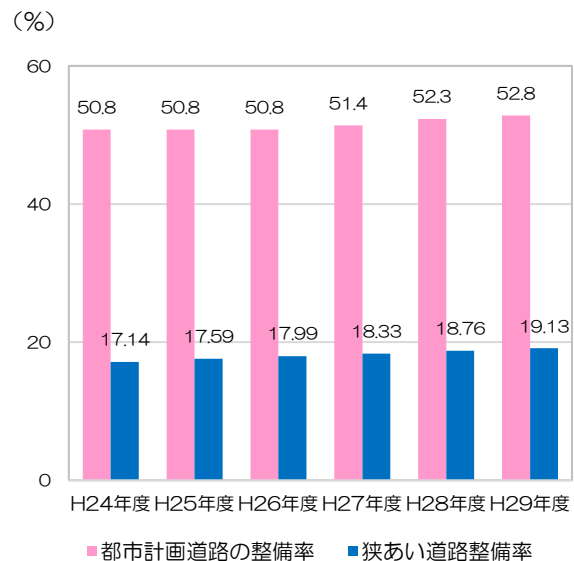
道路延長及び道路面積は、近隣自治体の中で 2 番目に大きいですが、単位当たりの道路面積は 2 番目に小さく、市内の道路が比較的狭いことがうかがえます



資料：東京都建設局道路管理部「東京都道路現状調書」

#### ◆各種道路の整備率

各種道路の整備率は年々少しずつ増加しており、整備が進んでいることがわかります  
今後も計画的に整備を進めていく必要があります

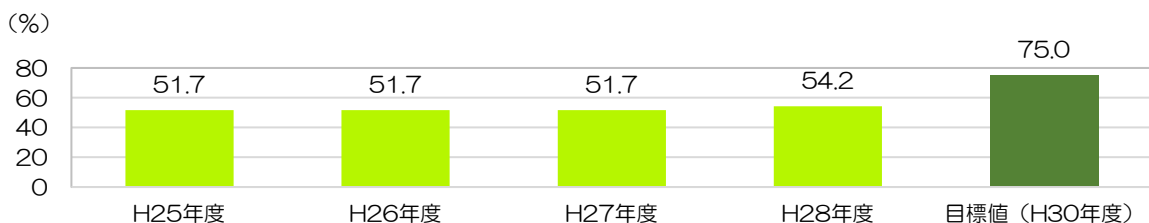


資料：街づくり事業課、調布市都市計画概要

## 24-2 人と環境にやさしい道路空間の整備

### 【まちづくり指標】 バリアフリー基本構想により実施すべき道路特定事業の達成率

平成 28 年度は市道南 21 号線（電通大通り）の整備が完了したため、達成率が増加しています  
今後も引き続き、調布市バリアフリー特定事業計画に沿って道路特定事業を進め、目標値を目指します



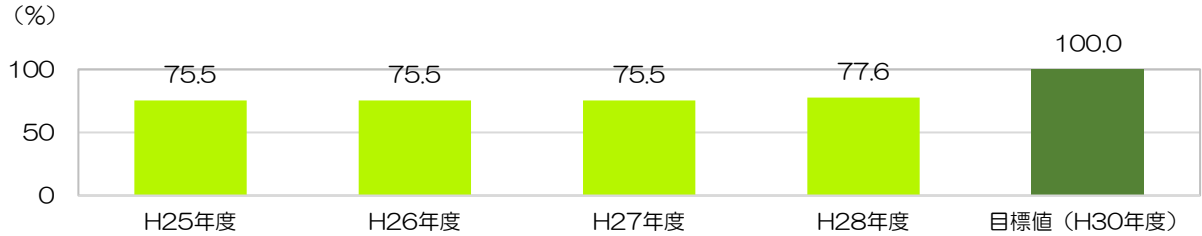
資料：調布市行政評価

## 24—3

## 災害に強い道路空間の整備・維持管理

## 【まちづくり指標】 橋りょうの耐震化率

平成 28 年度は一部の橋りょう耐震化が完了し、耐震化率が増加しています  
残りの橋りょうについても、今後計画的に補強を実施していく必要があります



資料：調布市行政評価

## 多様な主体との連携事例

## 調布市ふれあいのみちづくり事業

ふれあいのみちづくり事業は、市民が協働して市道、水路、けい畦その他特定の公共空間の維持管理を行う活動であり、市内の町内会、自治会、学校等の市民団体が清掃活動等を行い、市は団体に用具類等の無償貸与を行いました。住民が主体的に清掃活動を行うことで、市道等の適正な維持はもとより、地域全体の環境美化の向上と地域コミュニティの活性化にも寄与しています。

## 【所管課】

都市整備部 道路管理課

## 【協働のパートナー】

自治会など計 17 団体



＜調布市ふれあいのみちづくり事業の看板＞